

F REPORT No. 106

筑紫女学園報

No. 106

2024 MARCH
令和6(2024)年3月22日

Special Issue

特集 中学校・高等学校 教育最前線TOPICS

[特別鼎談]

グローバル人材を目指した 国際交流 —初のベトナム海外研修実施—

- 大学／海外派遣学生と留学生受け入れ
国際交流センターからのお知らせ
- 中学校・高等学校／全国高校駅伝大会報告
- 寄付情報
- 卒業生インタビュー
- 公開講座
- 筑紫女学園トップメッセージ
- 法海(こころに響くことば)



その教育 しなやかで、ゆるぎない。
学校法人 筑紫女学園

<https://www.chikushi.ac.jp>

筑紫女学園



グローバル人材を目指した国際交流

ベトナム社会主義共和国(以下、ベトナム)のハノイにある2つの高校と姉妹校協定を結んだ筑紫女学園中学校・高等学校。2023年11月には中学3年生の海外研修先として初めてベトナムを訪れ、非英語圏の生徒同士で学び合う機会を設けました。国際交流を体験する大切さや意義について今回の研修に携わった3名で特別鼎談を行いました。



座学だけでは味わえない 世界に飛び出して学べる機会を

山田: 筑紫女学園中学校では、2023年11月に3年生を連れて初のベトナム海外研修を実施しました。今回は生徒たちを引率した水田先生と、ベトナムへの修学旅行に詳しいベトナム航空の店田さんをお招きし、今回の学びを振り返りたいと考えています。私は2023年6月に現地視察に行き、同年11月には姉妹校協定を結ぶというスピード感のある進行を経験しましたが、皆さんはいかがでしたか。

水田: 準備から携わられた山田先生は生徒たちの安全を第一に気を配られて大変だったのではないかと思います。また、旅行会社のJTB様をはじめ、現地の企業の方々のおかげで、大変有意義な研修になったと実感しています。

店田: コロナ禍が明け、福岡からベトナムへの研修旅行を実施してくださったのは筑女が初めてでした。まずはベトナムという国の魅力に触れようと思ってくださったことに、心から感謝しています。今回初めてベトナムを研修先として選んでくださったのはどのような理由からだったのでしょうか。

山田: 実は5年ほど前から、個人的にベトナムへの修学旅行はどうかと考えていました。社会科担当として、海外の中でも経済発展の著しい東南アジアの現状を肌で感じる事が世の中を見る目を養う良い機会になると思ったからです。筑女では中学で「総合的な学習の時間」、高校で「総合的な探究の時間」と6年かけて探究学習を実施しています。自分は何が好きで何に興味があるのか、内側から湧き上がる好奇心や知識欲に対して時間をかけて調べたり、時には外部の人に話を聞いたり

しながら、自分の言葉で話し、人に分かりやすく伝える経験を重ねます。ベトナム海外研修はこうした探究学習での学びを生かせる最高の機会になると捉えていました。前例のないことだったので最初はさまざまな意見が出ましたが、研修を終え、以前は控えめだった生徒たちの背筋が伸び、視線が上がったような印象を受けていて結果的にやって良かったと心から思っています。

行かないと分からない 現地での貴重な学びの数々

水田: 実は、最初はベトナム海外研修と聞いて少し驚きました。私自身、筑女の中高出身で、海外研修は英語圏に行きましたし、プライベートでも欧米やオーストラリア、ニュージーランドなどにしか行ったことがなかったので、ど



中学3年生学年主任教諭
山田 尚宏

社会科担当。ベトナム海外研修には視察や計画段階の事前準備から携わる



中学3年1組担任教諭
水田 麻美

中学では理科、高校では化学を担当し、医進・サイエンスコースの担任



ベトナム航空 福岡事務所
マーケティング &
セールス シニアスタッフ
たなだ
店田 由美さま

福岡県出身、大学時代にアメリカに留学し、オーストラリアの大学院を修了後、数社の航空会社を経て現職。現在は修学旅行関係のセミナーや誘致活動に注力



のような研修になるか想像が付きませんでした。でも「せっかく行くなら楽しませるぞ」と考えるようになり、実際に行ってみたらたくさんの発見があって、今ではプライベートでもまた行きたいと思うほど好きになりました。美しい景色や活気のある街の様子はもちろんですが、現地の日系企業や人材開発会社を訪問したことや技能実習生の暮らしぶりや社会問題について学んだことも貴重な体験でした。特に印象に残っているのは、日本語を学習中のベトナムの生徒たちから「日本のどこが好き?」などと聞かれた筑女の生徒たちの反応です。難しい言葉では伝わらなかったのですが、相手が分かりやすいように噛み砕いた日本語を話そうと懸命に工夫しようとしていたんです。英語で話す際もお互いにとって母国語じゃないからこそ、片言でも伝わるようにジェスチャーを交えるなど、自ら考えて行動していて本当に感動しました。また、ショッピングを楽しむ時間がとれたのも良かったと思っています。現地のスーパーで食材を見たり店員さんと会話をしたり、買う体験一つとっても学びが多かったです。

山田:日本で買えるお菓子やユニクロや無印良品など見慣れたものがあると安心しますが、「なぜ日本と同じ店があるのだろう」という問いや気付きにもつながったのではないかと思います。私が旅程を組む際、最もこだわったのは研修の最初にロッテセンターの展望台からハノイを一望することでした。高層ビルや旧市街など、みんながイメージしていたベトナムとは違う表情を見ることで先入観を取り払ってから旅を始めたかったです。

店田:それは素晴らしいアイデアですね。

国民の8割が仏教徒のベトナムは筑女生にとっても親しみやすい国

店田:仕事柄、ベトナムで研修旅行をすることの意義や国の魅力そのものを伝える機会が多いのですが、まさにお二人がおっしゃるような点話です。ベトナムは世界に誇れる絶景が望める世界遺産もあれば、今回訪れてもらったような日系企業も多く、観光とビジネスの両面で見どころの多い国です。英語が母国語ではないので、お互いに創意工夫をしながらコミュニケーションをとることで深い学び

も得られます。食事も日本に近い味付けが多く、国民の80%が仏教徒なので、特に筑女の皆さんには親しみを感じられやすい国なのではないかと思いますね。先ほど山田先生が筑女では中1から探究学習をされていると教えていただきましたが、それは本当に素敵な教育だと感じました。中学校での学習の集大成となるような有意義な研修になったようで、私たちも非常にうれしく感じています。

山田:こちらこそお力添えのおかげで本当に良い研修になり、感謝しております。

日頃の学びと研修の経験を結び付けて今後の糧にしてほしい

店田:個人的な話になりますが、私は英語が好きで中高時代にはスピーチコンテストに出たり英語で環境問題や社会問題を学んだりするのが楽しかったんです。そこから留学を経験し、今の仕事につながりました。中学生の皆さんにとって何が入り口になってどんな道に進むことになるのか想像もつきませんが、筑女のように日頃の探究学習と研修旅行がしっかりと結び付いていることは将来の可能性を広げる良い機会になると思います。肌で感じた経験は必ず自分の糧になるはずですよ。

水田:本当にそう思います。実際、生徒たちからは「片言でも単語だけでも話そうとすれば伝わるのが分かった」という声も聞きました。また、英語が通じなくて悔しい思いをした生徒たちもきっとそれが次の学びの原動力になるはずですよ。私は中3からの「医進・サイエンスコース」で理系の道を目指す生徒を受け持っています。探究学習では理系の大学の先生にお題を出してもらって自分たちで探究・考察し、最後にプレゼンをしますが、半年や1年でも生徒たちの成長は目覚ましいものです。ただ、中1・2年次は個人活動が多かったので、中3では生徒同士のコミュニケーションを活発にするため、3週間ごとに席替えをしたり、班での活動を増やしたりしてコミュニケーション力を上げるような取組もしています。彼女たちを見ていると、研修旅行でも臆さず話している様子だったので、日頃の学びと研修のつながりを改めて感じる事ができた瞬間が今回だけでもたくさんありました。

店田:個人の成長とクラス全体でのコミュニ



ケーション力の向上の両面で成長が感じられるなんて日頃の教育の成果が表れているんですね。

山田:先生方がおっしゃる通り、私たち大人にできるサポートは日頃の学びと結び付けられるような環境を準備して体験をさせる機会をつくることですね。そういえば今回の研修中の食事でエビが出てきたんですが、自分でエビの殻を剥いたことがないという生徒もいて、こうした些細なことでも経験を積むこと、そうした環境下で過ごす機会を与えることは本当に大事だと感じました。

社会問題を自分ごとと捉え目で見たもの・肌で感じたことを大切に

水田:最終的には生徒たちは帰らなくなさそうに楽しんでいましたし、先入観に縛られていたのは大人だけなのかもしれません。私の考え方も変えていかなければと気付かされました。今回訪れたハノイはもちろんですが、今度はホーチミンにも行きたいです。

山田:少し慎重だった水田先生から、そんなご意見が聞けて安心しました。今回は日系企業訪問をメインに、社会を知ることの重きを置きました。それは、技能研修生の人権問題などを、他国の出来事ではなく自分ごとのように考えてほしかったからです。これからの先行き不透明な時代を生き抜いていく力を身に付けるためにも、世界を知ることが大切だと思います。そして知らない国に対する無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り払ってほしい。イメージではなく自分たちの目で見たものや肌で感じたものを大事にする心を養ってほしいと願っています。そして、ぜひ数年後にまたベトナムに足を運んでもらいたいですね。円安ドル高、SDGsの進み具合などで目まぐるしく変わる国の様子を、五感全部で感じ取って自分たちの糧にしてもらえたらこれほどうれしいことはありません。

店田:同感です。若い年代の方々にとって海外での経験が視野を広げ価値観を醸成する一助になればと願いますし、その入り口に成長著しく魅力にあふれたベトナムを選んでいただき改めてうれしく思います。

中学3年生 ベトナム海外研修

2023年11月に実施したベトナム海外研修では、姉妹校や日系企業を訪問して交流を楽しみつつ、国際問題や社会課題について学び考える良い機会に恵まれました。

●姉妹校訪問



今回訪問した姉妹校は、1955年に創立され、解放後に革命、独立、民主主義という教育プログラムを最初にも実施したViet Duc High Schoolと、ハノイでもトップ3に入る優秀な学校といわれるPhan Dinh Phung High Schoolの2校です。英語で対話しながら食事をしたり、お互いの国で親しみのあるダンスを披露したり、クイズや合唱を楽しみ、最後はハグをして別れる生徒もいました。

●企業訪問



「TOTO」「AEONベトナム」「VINAMEX(ベトナム人材開発商業株式会社)」「JCICI(ベトナム日本商工会議所)」といった企業・団体を訪問し、工場やスーパーマーケットなどの現場を見学しました。日頃から身近な企業や商品に触れ、技術の高さやものづくりの大変さを学びつつ、日本との違いや国際社会の一端を見る機会にもなりました。また「JETRO(日本貿易振興機構)」「VNSO(ベトナム国立交響楽団)」「JNTO(日本政府観光局)ハノイ事務所」「IEVJ(越日希望の轍プロジェクト)」ではセミナーを通してベトナムの実情や、ベトナムから見た日本の姿について話を聞きました。ベトナムの技能実習生が置かれている環境や抱える問題についても学び、海外で働くことや社会課題の一つでもある国際問題について自分ごととして考えるきっかけになりました。

●生徒たちの声

姉妹校訪問

英語の重要さを再認識するきっかけに

3年4組 津田 実咲さん



緊張と楽しみな気持ちで学校を訪問し、いざ会話を始めると英語が聞き取れず苦戦しましたが、積極的に知っている単語やジェスチャー、時には写真も交えて楽しい時間を過ごすことができました。

企業訪問

企業のCSR活動についても学ぶ機会に

3年1組 古藤 宏乃さん



「TOTO」の工場を見学し、ベトナムの公共施設のほとんどのトイレがTOTO製であることや、ベトナム発展のために学校建設などのCSR活動にも積極的に取り組んでいることを知り、驚きました。

今後の目標

未知に飛び込む勇気と広い視野を

3年2組 竹中 真生さん



ベトナムの生徒たちは意欲的で、私自身の受け身の姿勢や視野の狭さを反省する良い機会になりました。研修で受けた刺激を糧に、未知の領域に臆さず飛び込める勇気と広い視野を持ちたいです。

● 筑女プラン2028及びベトナム姉妹校協定締結



筑女プラン2028においてグローバル教育への展開やアジアの女子教育の拠点化、姉妹校協定の締結を掲げています。これらを実現するために、23年6月に松尾校長がハノイ市を訪問したことでベトナムの学校と本校との縁が生まれ、11月に2校を訪問、協定締結の流れになりました。今回は本校の中学3年生の海外研修という形でベトナムを訪れましたが、帰国後も継続的にオンラインで交流しています。オンライン掲示板サイトを用いてお互いの学校や都市を紹介する動画を投稿したり、コメントで感想を伝え合ったり、今後もオンラインミーティングなどを続けていく予定です。5月にはベトナムの生徒たちが来福し、本校での交流会を実施することになりました。今後もこのような継続的な活動を続けていきたいと考えています。

PROGRAM

校舎内実施 国際交流プログラム ※2023年度実績



中学2年生 マレーシアとのオンライン交流

本校の中学2年生と、マレーシアのプトラジャヤプレセント16(1)中高等学校の生徒たちがオンラインツールを介して国際交流の機会を持ちました。開催に際して生徒会役員や各クラスの総務・副総務を中心としたプロジェクトチームを結成し、交流に関心を持つ生徒たちも加えて交流会の準備を進めました。総合的な学習の時間を利用してグループ単位で交流するためのクイズ問題を作ったり、英語の授業で自己紹介の練習をしたり、少しずつ準備を進めていきました。最初は不安がっていた生徒たちもいましたが、少人数に分かれて交流する時間になると笑顔で自己紹介をしてクイズを出し合っていて楽しんでいました。これ以前にも海外の英語講師を迎えてSDGsをテーマにしたディスカッションや探究活動を行ったことがあり、生徒たちはこうした経験を重ねるごとに課題を発見し、交流への意欲を高めています。今後もこうした機会を積極的に設け、不安や緊張をあまり感じず楽しめるよう英語力の向上を目指します。

修学旅行 企業訪問

※2023年度実績



高校2年生 シンガポール・マレーシア企業訪問

2023年11月に本校の高校2年生がシンガポールとマレーシアを訪れ、企業を訪問したほか、現地の高校生や大学生と交流しました。本プログラムへの参加を希望した193名は訪問先について事前に自分たちで調べ、現地で質問する内容を考えるなど準備をした上で臨みました。訪問先は製造業や金融機関、不動産会社、旅行会社、ホテルチェーン、幼稚園や高齢者施設など幅広い業種で、さまざまな職種の方の話を聞く機会に恵まれました。まだ働いた経験のない生徒たちにとって、働くこと自体についてはもちろん、日本と海外の働き方や職場環境の違い、現地の企業のさまざまな取組について学ぶことができました。このプログラムが生徒たちの視野を広げ、今後の自身の職業観を育む一助となりました。



1 多様な文化、価値観や考え方に触れるプログラムの実施

本学では、語学、ボランティア、専門領域に関する研修・中長期留学等、さまざまなニーズに合ったプログラムを提供しており、毎年全学生の6% (約180名) が海外留学や研修に挑戦しています。

また、キャンパスのグローバル化推進のため、東南アジアの協定校か

らの留学生を多く受け入れる等、キャンパス内での異文化交流の機会を提供します。国内外にかかわらず、異文化に触れることで、国際感覚や異文化適応能力を身に付けることができます。



◆語学・文化体験

- ・韓国夏期研修 (仁川大学・東亜大学・徳成女子大学)



◆ボランティア

- ・サンフランシスコ国際ボランティア研修
- ・インドネシア日本語教育ボランティア

◆建学の精神

- ・インド「思想と文化」研修

◆学科主催研修

- ・TOTOベトナム海外インターンシップ研修
- ・フィリピン福祉研修
- ・ハワイ大学語学研修

◆ダイバーシティ

- ・シドニー研修
～ダイバーシティ視察・体感ツアー～

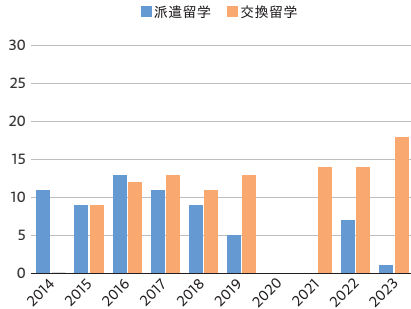
2 2023年度海外派遣学生と留学生の受け入れについて

本学では、新型コロナウイルスの影響で減少した派遣学生と留学生の受け入れが、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。(下記グラフ参照)

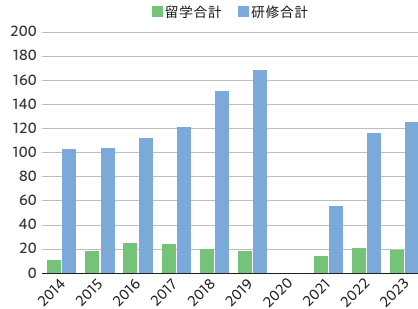
2023年度には本学の交換留学プログラム他2件が、日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派遣)に採択されました。派遣学生の経済的負担が軽減され、海外留学希望者数の増大につながっています。



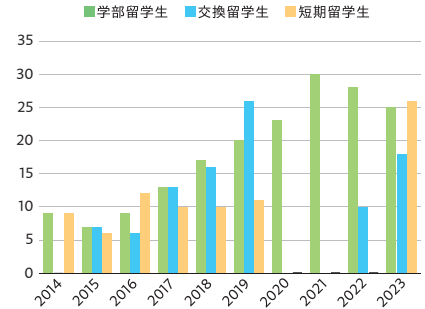
派遣学生数推移(長期留学)



派遣学生数推移(留学・研修)



年間受入留学生数推移



Interview

海外ボランティアへの挑戦 文学部英語学科3年 小倉 明華音

私は、在学中に海外に行くチャンスを手にしたという思いと、海外の日本語教育に関心を持っていたことから、インドネシア日本語教育ボランティアに参加しました。初めての海外でインドネシアに行くことは大きな挑戦であり、当時は家族からとても心配されましたが、約3週間の生活はこれまでの人生で一番充実していたように思えます。このボランティアでは、高校や技能実習生の学校における日本語教育のあり方や、多民族国家ならではの異文化を受け入れる姿勢、インドネシアの文化や宗教に対する考え方など、多くのことを学びました。

私はこの経験から、さらに長い期間をインドネシアで過ごし、日本語教育に関わりたいと思い、国際交流基金の「日本語パートナーズ」^(※)の選考に挑戦しました。

その結果、今年の8月から来年3月までインドネシアへの派遣が決まり、とてもうれしいです。日本語パートナーズでは、笑顔で楽しむことを忘れずに、責任感をもって派遣先の高校生たちや地域の方々には日本文化や日本語の魅力を伝えられるような活動を行いたいです。そして、卒業後に日本語教師として働くために必要なスキルを身に付け、多くの経験を積んでいきたいです。

(※)独立行政法人国際交流基金が行っている事業。アジアの国々に派遣され、中学・高校の日本語の授業のアシスタントや日本の文化を紹介するなどの任務を遂行します。



写真中央が小倉さん

国際交流センターより

● 筑紫女学園大学の国際交流／筑女で異文化理解を学ぶ



国際交流センター長 文学部
かりの
准教授 鴈野 恵

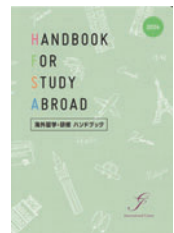
国際交流センターは本学学生を「可愛い子には旅をさせよ」という思いで送り出し、留学生を「友あり遠方より来たる、また楽しからずや」という思いで受け入れています。

送り出しも受け入れも、根底には一つの目標「異文化に対する感受性」の獲得があります。自分の慣れ親しんだ文化との違いに気づき、異なる価値観を理解しようとする気持ちを育て、異文化間の懸け橋となる人材になってくれることを願い、多くのプログラムを行っています。しかし、これは少し苦い体験がつきものです。ことばが通じずに仲間に入れない、生活環境に馴染めない…そんなちょっと苦い経験の向こう側に真の「みんな違ってみんないい」が待っています。

海外研修以外にも留学生との交流やドアーズ(Global Project)を通じて異文化に対する感受性を身につけることができます。立っている場所が違ったら見えている景色が違うのは当たり前。国際交流センターの海外研修と学内プログラムでそれを体得してください。

Check

海外研修・留学ハンドブックは
こちらから閲覧できます。



<https://www.chikushi-u.ac.jp/2023handbook/#page=1>

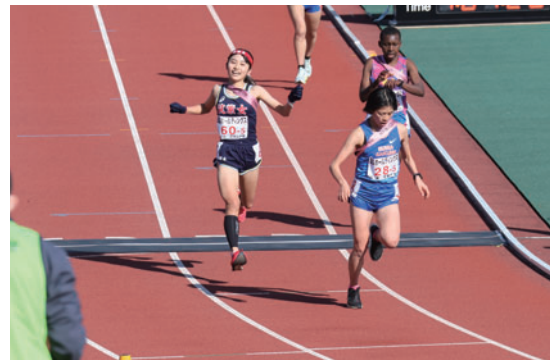
中学校 高校 TOPICS

高校陸上部が女子第35回全国高等学校 駅伝競走大会で2年連続7位入賞!!

2023年12月24日、京都市にて開催された女子第35回全国高等学校駅伝競走大会において、高校陸上部が昨年に続いて7位入賞を果たしました。2年連続28回目の出場、そして今回の7位入賞で、21回目の入賞をすることができました。県代表での出場は惜しくも逃しましたが、記念大会枠の北九州地区代表として出場し、チーム全員が筑女伝統の走りで都大路を駆け抜け、襷をつなぐことができました。

皆さまからたくさんのご支援とご声援をいただき、本当にありがとうございました！引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

区間(距離)	走者(学年)	タイム
1区(6.0km)	金森 詩絵菜(2年)	19分40秒
2区(4.0975km)	大熊 さわ(1年)	13分20秒
3区(3.0km)	明石 初花(2年)	10分 2秒
4区(3.0km)	福山 光(3年)	9分48秒
5区(5.0km)	佐々木 玲奈(1年)	16分26秒
7位	総合タイム	1時間9分16秒



寄付に関する報告とお知らせ

日ごろから、本学園の教育振興のためにご支援・ご協力を賜り、深く感謝しております。

本号では令和5(2023)年1月1日～令和5(2023)年12月31日までに寄付申込みいただいた皆さまのご芳名を掲載させていただきます。

寄付(順不同)

以下のとおり、ご寄付・ご寄贈をいただきました。誌上、お礼とご報告をいたします。

●寄付金

■筑紫女学園の育英奨学金として

仙山 眞乗 様
金額 1,000,000円

今泉 英明 様
金額 200,000円

中村 泰隆 様
金額 30,000円

■筑紫女学園大学ネパール復興教育支援プロジェクトに対する支援金のため

藤原 隆信 様
金額 70,000円

細川 孝 様
金額 10,000円

筑紫女学園大学 連携推進部
ボランティア活動支援センター 様
金額 30,048円

筑紫女学園大学 現代社会学部
藤原ゼミナール1期生 様
金額 294,254円

筑紫女学園大学 現代社会学部
藤原ゼミナール2期生 様
金額 328,188円

筑紫女学園大学 現代社会学部
藤原ゼミナール3期生 様
金額 22,829円

筑紫女学園大学 現代社会学部
藤原ゼミナール4期生 様
金額 112,109円

筑紫女学園大学 現代社会学部
藤原ゼミナール5期生 様
金額 222,821円

■芸術鑑賞・能楽鑑賞費補助として

筑紫女学園 後援会 様
金額 2,916,500円

■図書購入費補助として

筑紫女学園 後援会 様
金額 2,000,000円

■大学の教育研究費の補助として

筑紫女学園大学 後援会 様
金額 1,000,000円

■スクールバス運営費補助として

筑紫女学園大学 後援会 様
金額 5,000,000円

■ 新入生オリエンテーション経費補助として

筑紫女学園大学 後援会 様
金額 353,000円

■ 部活動支援として

田中 孝明 様
金額 200,000円

■ 筑紫女学園中学校・高等学校の教育・研究活動支援のため

田中 俊治 様
金額 10,000円

■ 園児の教育環境充実のため

筑紫女学園大学附属幼稚園
令和4年度卒園児一同
保護者会会長 志賀 香織 様
金額 181,979円

■ 大学在学生のための奨学金として

生活協同組合
福岡インターカレッジコープ
理事長 高山百合子 様
金額 5,000,000円

■ 筑紫女学園大学人間文化研究所 女性学研究室の研究発展のため

中川 正法 様
金額 300,000円

■ 大学宗教部の宗教教育活動に 対する支援のため

中川 正法 様
金額 500,000円

■ 大学真宗文化史研究会の調査 研究に対する支援のため

中川 正法 様
金額 500,000円

■ 大学のボランティア支援金として

株式会社ジック
代表取締役社長 尾崎 靖亮 様
金額 1,000,000円

■ 筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の 全国高等学校駅伝競走大会出場活動支援のため

高藤 宏子 様
金額 1,000,000円

筑紫女学園大学 後援会 様
金額 800,000円

岡部 知寛 様
金額 150,000円

富宿 達雄 様
金額 110,000円

福田 了 様

仙山 眞乗 様

中村 隆元 様

福地 太郎 様

筑紫女学園大学同窓会 紫友会 様
金額 各100,000円

明石 裕之 様
金額 80,000円

加茂 民雄 様
金額 70,000円

岡部 重幸 様

倉重 一男 様

向原 暎子 様

金額 各60,000円

旭 環治 様

桑野 龍一 様

TOTO株式会社 TOTO陸上競技部事務局 様
金額 各50,000円

国元 将生 様

鶴田 恵美子 様

筑紫女学園中学校・高等学校同窓会
精華会関西支部 様

金額 各40,000円

金森 勝利 様

金額 33,000円

飯島 理彰 様

伊藤 愛 様

岩崎 直規 様

清川 久美子 様

高口 治子 様

戸江 宗浩 様

友田 秀明 様

福山 雅太郎 様

淵上 正人 様

山崎 知生 様

山本 俊祐 様

山本 美都子 様

株式会社アスカ 様

株式会社佐電工福岡支店 様

株式会社童夢 様

筑紫女学園大学 現代社会学科 様

福岡教務所 様

ベネックスソリューションズ株式会社 様

旅館金時 湛 ヨツ子 様

金額 各30,000円

寄付に関する
お問い合わせ先

学校法人筑紫女学園 法人本部事務局総務部
〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2-12-1

TEL 092-925-9918 FAX 092-925-8319

詳しくはホームページをご覧ください。 <https://www.chikushi.ac.jp/donation/>

詳しくは
こちら



天野 義則 様
有田 賢二 様
池田 伸吾 様
伊佐 元子 様
伊佐 宇為彦 様
井原 みさを 様
江頭 ゆかり 様
大武 幸子 様
沖田 光宏 様
笠 信曉 様
金子 瑞恵 様
河津 博子 様
川端 眞樹子 様
河村 邦彦 様
木村 一雄 様
鯉川 桂之祐 様
古賀 龍生 様
後藤 安代 様
小柳 和孝 様
佐藤 みさお 様
島田 和彦 様
白水 光利 様
大東 公彦 様
高原 信一 様
田代 倫子 様
田部 公資 様
中井 健雄 様
長尾 正雄 様
柳樂 卓魅 様
波多江 彩圭 様
波多江 眞知子 様
藤井 章生 様
二川 豪仁 様
松尾 薫 様
松本 典久 様
丸山 信幸 様
宮崎 梅子 様
安田 政司 様
吉川 勝久 様
米村 修一 様
渡辺 美紀 様
株式会社教育企画 様
株式会社重岡工務店 様
株式会社CJクリエイト 様
株式会社JTB九州 福岡教育旅行センター 様
久留米月星商事株式会社 様
筑紫女学園中学校・高等学校同窓会
精華会関東支部 様
金額 各20,000円

井上 雄介 様
梶原 信介 様
金額 各15,000円
有川 正真 様
石津 政和 様
石橋 宏明 様
一尾 泰嗣 様
井手 直樹 様
上野 祐子 様
上原 謙一 様
梅山 芳広 様
大熊 健二郎 様
岡本 敦子 様
傍示 裕昭 様
片山 俊男 様
川野 厚子 様
北崎 泰之 様
北里 旭 様
工藤 桂子 様
久米 郁子 様
古賀 秀策 様
後藤 京子 様
斉藤 直也 様
佐々木 喜三雄 様
清水 英文 様
神宮 誠治 様
関 宗紹 様
園田 護 様
高橋 敬 様
高谷 はとこ 様
竹内 一生 様
田中 良明 様
塚本 正和 様
辻田 りか 様
津吉 陽菜 様
戸江 千枝 様
時里 奉明 様
永長 紀明 様
永田 恵子 様
仲野 公美 様
長野 邦裕 様
中山 成一 様
中山 雅裕 様
西村 慎一 様
橋本 麻子 様
羽根田 重伸 様
長谷川 裕一 様
原口 修一 様
平野 聖子 様
藤川 和代 様
藤崎 祥子 様

藤原 節子 様
堀 安希 様
御崎 淳子 様
三井 正則 様
光安 正直 様
三苫 佳子 様
ミラー 智子 様
本松 仁 様
森 政義 様
安井 卓 様
横手 幹雄 様
吉島 秀和 様
吉田 正治 様
由水 和宏 様
吉元 道子 様
渡辺 裕二 様
株式会社Oniya 代表取締役 鬼倉 潔 様
株式会社ヒライ 様
株式会社南福岡自動車学校 様
井上関西堂 様
九州自動車リース株式会社 様
筑紫女学園大学 初等教育・保育専攻 様
エコアス株式会社 様
有限会社白鳥産業 様
有限会社APOLLO DESIGN 代表 平井 敏之 様
冷泉閣ホテル 様

金額 各10,000円

片岡 正之 様
筑女ファン 様
山岡 玉輝 様
金額 各5,000円

石松 香織 様
山手 智子 様
金額 各3,000円
片田 武 様
金額 1,000円

■ 匿名

匿名7名
金額 360,000円

● 寄贈

■ 中学校・高等学校へ

筑紫女学園 後援会 会長 脇山 章太 様
キューブアイスメーカー 1個

筑紫女学園高等学校 令和4年度 卒業生一同 様
掲示用ホワイトボード 30個

筑紫女学園へのご支援をお考えの皆さまへ

ご寄付の使途を指定することができ、皆様のご意向に沿ったかたちでご寄付いただけます。

昨今の厳しい経済状況の折、大変恐縮ではございますが、皆様には本学園の教育活動にご理解、ご賛同いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 本学園窓口及び金融機関からのお申込み

法人本部事務局総務部までお問い合わせください。

■ インターネットでのお申込み

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easyでのお支払い方法が選択できます。

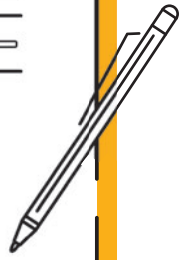
詳しくは
こちら



卒業生

インタビュー

Message
from
Graduates



未来への道を描いている皆さんの
背中を押してくれる
宝物になるような言葉の贈り物です。

互いに認め合える友人は
筑女で手に入れたかけがえのない財産。
“しなやかさ”を忘れずに
仕事もプライベートも大切にしていきたい。

九州大学 整形外科医局員

宮房 玲奈さん

筑紫女学園中学校・高等学校 2013年卒業



様子を見ていたからです。一人ひとりの個性
を尊重する校風や、自由過ぎず、校則がしっ
かりしている点にも惹かれました。

—今後の目標を教えてください。

医師としては、専門医の資格を取ってさら
に成長することです。プライベートでの目
標は、家庭と仕事との両立ですね。働き方
を見直して家族の時間も大切にし、後輩た
ちのロールモデルになれるよう模索中
です。筑女で学んだ“しなやかさ”を胸に頑張りた
いです。

—後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

整形外科医の父を見て育った私は、幼い
頃から医師になることを目指していました。
そして、たくさんの方々の応援のおかげで今
があります。学生時代に抱いた夢や目標は、
生きる上での原動力です。皆さんもぜひやり
たいことを見つけて全力投球してください。
筑女はそれをきっと支えてくれます。



—当時の学びで今につながっているこ
とは？

筑女は女子校なので「これは女子の役
割」と、性別で分ける文化が全くありません。
私が今いる整形外科医の世界はまだまだ女
性が少ない環境ですが、そんな世界にも臆
せず飛び込めたのは、筑女で過ごした時間
があったからだと思います。また、筑女で出
会った友人たちとの関係は今も続していま
す。みんなしっかりと自分を持ちながらも人
の価値観を尊重できる人たちがばかりで、会
うたびに刺激もらっています。

こちらにロングインタビューを掲載しております
<https://www.chikushi.ac.jp/interview/>



—現在のお仕事について教えてください。

九州大学の整形外科医局員としてさまざ
まな病院に勤務し、運動器全般の疾患の治
療にあたっています。外来の患者さんの診察
や、整形外科手術が必要な患者さんの対
応、術後のケアなども私の役目です。

—筑女に入学したきっかけは？

姉が学校生活を伸び伸びと謳歌している

memories



高校時代、中庭で記念写真。宮房さんは左から3番目

受講料無料

令和6(2024)年度 前期 筑紫女学園大学 公開講座

“ともいき(共生)”～あらゆる存在とのつながりの中で生かされていることへの目覚め～

講座名	日時	会場	対象
公開講座 第25回仏教文化講座「七高僧」(3回) 第1条 インド-龍樹と天親- 第2条 中国-曇鸞・道綽・善導- 第3条 日本-源信・源空-	6月 1日(土) 6月 8日(土) 6月15日(土) 14:00～15:30	筑紫女学園大学 6号館6101教室	一般/70名
公開講座 みんなで“不登校”について考えるセミナー 不登校に対する基本的理解と支援について	6月29日(土) 10:00～12:00	筑紫女学園大学 6号館6101教室	一般/50名
公開講座 「自分らしい大人になるために」	7月 6日(土) 10:00～12:00	筑紫女学園大学 8号館8103教室	一般/30名
公開講座 「実行機能について考える」	9月 7日(土) 14:00～16:00	コムシティ 北九州市八幡西区黒崎3-15-3	一般/50名
体験講座 アジア文化体験講座2024 音楽宇宙に遊ぶ～ガムランとドビュッシー 第1部:講演「ジャワ・ガムランの時間の流れ～宇宙との呼応～」 「フランス人の東洋憧憬～ドビュッシーの場合～」 第2部:ガムランワークショップ	6月 1日(土) 13:00～16:00	浄満寺門徒会館 福岡市中央区地行2-3-3	一般/30名

体験講座の
お知らせ

九州国立博物館と共催で後期ガムランワークショップ「アジア伝統音楽の力(仮)」を計画中です!

筑紫女学園大学文学部アジア文化学科では、1999年の新設以来四半世紀、インドネシアのガムランを教育内外で活用してきました。九州国立博物館でも2005年の開館にあたり本学と同様のガムランセットを導入。これまでは博物館と本学それぞれでガムラン公演やワークショップを行ってききましたが、今年度は共催イベントとして実施することになりました。国際交流の歴史をもつ太宰府を舞台に、博物館と本学が協力し、どんな音色を奏することができるか楽しみです。開催は10月の予定です。



お申込み・お問合せ

筑紫女学園大学社会連携センター
〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1

TEL/092(925)9685 FAX/092(925)9683
Eメール/gakushu@chikushi-u.ac.jp

お申込み方法

FAX・Eメールまたは
本学ホームページより



*お申し込みの際は、①受講希望講座名②受講日③氏名(ふりがな)④郵便番号⑤住所⑥電話番号⑦年代⑧FAX番号(FAX申込の方のみ)をご記入ください。
複数名でのお申込みの場合、参加希望者の氏名(ふりがな)もご記入ください。
*お申込みの締切りは各講座開講日1週間前までとしており、定員に達した場合も締切りとなりますのでご了承ください。
*お預かりした個人情報は適切に管理し、公開講座運営以外に使用することはありません。

天候等による講座開催の判断は、大学ホームページ内でお知らせいたします。

詳細はこちら

筑女で
学び直しませんか?

履修証明プログラム

履修証明プログラムとは就労中または就労を目指している社会人女性を対象にしたリカレント教育*です。「女性のためのステップアップ・プログラム」を2021年度より開設し、社会における女性の活躍を支援しています。この履修証明プログラムは、体系的な知識・技能等の習得を目指した教育プログラムで、目的と内容に応じて総時間数60時間以上で設定されています。

*リカレント教育…社会人になってからも、学校などの教育機関に戻り、学習し、また社会へ出ていくことを生涯続けることができる教育システム。

～ 修了者には、履修証明書を交付します ～

●プログラム

〔プログラム 1〕キャリアスキルを高めるプログラム《科目等履修コース》

Ⅰ ベーシックコース(基礎編) Ⅱ アドバンスコース(上級編)

〔プログラム 2〕多様性が尊重される社会を作るためのプログラム《聴講コース》

お申込み前にメール又はお電話でご相談ください。

授業科目・
募集要項は
こちらから



お申込み・お問合せ

筑紫女学園大学
女性活躍支援センター

TEL/092(925)9685 FAX/092(925)9683
Eメール/renkei@chikushi-u.ac.jp



CJ REPORTを読んでものご意見・ご感想をお寄せください!

より良い紙面作りを目指して、皆さまからのご意見・ご感想を募集します。

アンケートは
こちらから



新年度を迎えるにあたって

新年度を迎えるにあたり、南大学学長、松尾中学校・高等学校校長、實藤幼稚園園長より、新年度の決意と未来へ向けたメッセージをいただきました。



筑女から世界を変える！

筑紫女学園大学 学長 南 博文

〈みらいの筑女生へ・現役生へ・先輩方へ・応援団へ〉

あなたの周り、半径3メートルが良くなれば、そこに居る人々が今より少しハッピーになれば、世界が変わる。7人を介してバトンを渡していけば、世界中のあらゆる人とつながることができるんだって(スモール・ワールド現象)。

だから、最初に自分が変わろう。別な人になる必要なんかない。そうなったらあなたじゃなくなるから。

あなたのままで、学びによって、あなたの行動を15%変えてみる。小さな変化かも知れないけれど、確実に世界は変わるよ。



伝統と革新

筑紫女学園中学校・高等学校 校長 松尾 圭子

変化の激しい時代にあつて、学校は、生徒一人ひとりが豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるための資質・能力を育成することが求められています。このために、私たち中学校・高等学校では、仏教のみ教えによる思いやりのある豊かなところを育てていくとともに、学力と言語能力、創造性をバランスよく身に付けるための教育プログラムを展開しています。今後もこの歩みを継続し、「選ばれる学校」に向かって伝統と革新が融合した教育に取り組んでまいります。



“遊び”は成長に必要なエネルギー源

筑紫女学園大学附属幼稚園 園長 實藤 浩一

子ども達が生き生きと遊びに没頭し、「明日も行きたくなる幼稚園」を目指します。そのためには、「自分でできた喜び」を増やしていきます。自分の力でやり遂げるのが困難な時は、そっと教師が支援をいたします。また、目標を持って挑戦し、友だちと励まし合いながら取り組み、「やればできる」という達成感・満足感を味わわせます。幼稚園の活動を家庭での生活とつなぎ、園と家庭とが連携して子ども達の成長を支えています。



法海 こころに響くことば 30

美しさは あなたが あなたらしくいると決めた時にはじまる

「女性の自立」を目指しファッション界に新しい風を起し、今もお大きな影響を与えるココ・シャネル(1883-1971)のことばです。皆さんにとってシャネルという人物より、ファッションブランドとしての“Chanel”の方が馴染みがあるかも知れませんが、人物としてのガブリエル・シャネルは女性の解放についても大きな足跡を残しています。ガブリエルのデザインには、常に女性の解放という理念がありました。コルセットを追放し、スポーツウエアを取り入れながら生み出した独自のシルエット。心と体を閉じ込めてきた服から女性を解放したことで、彼女はファッション界のみならず、世界の有り様を変えることになりました。

さて、阿弥陀仏の浄土の世界を説かれた『仏説阿彌陀經』に「青色青光 黄色黄光 赤色赤光 白色白光」とあります。これはお浄土に咲く蓮の花の有り様を、「青色の花は青い光、黄色の花は黄色い光…」と、当たり前のことのように、それぞれ

の花たちが、それぞれの花の色を精一杯の輝きをもって咲き誇っているという意味です。そしてこのお浄土の花々の輝きは、そのまま私たち一人ひとりの姿にも喻えられ、人もそれぞれ個性をもってそれぞれの色を光り輝かしていると説かれます。しかし、私たちの世界に目を向けてみると、私たちはいつも誰かと比べて勝つか負けるか、自分が正しくて相手が間違っていると争い、“優勝劣敗”の生活をしていないでしょうか。本来、私たち一人ひとりもお浄土の花々がそれぞれの色を輝かしていると説かれるように、誰とも比べることのない尊い輝きをもった存在であり、そのことに気づかせようとする教えが浄土の世界の表現です。

ココ・シャネルのことばも、浄土の花々の輝きのように、「あなたがあなたらしくいる」ことがそれぞれの“美しさ”(尊さ)だということを教えてくれているようです。